



① 南前野保育園「継続研究研修の取り組み報告」

② 志村橋保育園「継続研究研修の取り組み報告」

③ 保育の質向上プロジェクト研修報告会の様子

第 32 号 令和 2 年 2 月 4 日
編集・発行 保育サービス課研修担当



保育の質向上プロジェクト研修

今年度は南前野保育園・志村橋保育園の2園が園内継続研修に取り組みました。

南前野保育園 「ドキュメンテーションを学び発信力の向上を目指す」～保育に親を巻き込む～
志村橋保育園 「子どもたちの気づき、やってみたい意欲にとことん寄り添う」

2園ともに保育園の課題は何か？保育の中で何をしたいのか？様々な切り口からテーマを決め、テーマに沿って講師の先生に助言を受けながら、継続的に保育を研究し、たくさんの学びがありました。

また、今年度より始めた保育の向上プロジェクト研修では、研究研修の取り組みの報告と地域グループでの情報交換の中で、学びの振り返り、自分の園でできること、やってみたいことなど共有でき、明日からの保育実践に活かせる交流会となりました。

園内研修は保育者の成長の場

日々の保育を振り返ってみよう！！

たとえば同じテーマで・・・

- ① 保育者が「いいな」「楽しい」「おもしろい」と感じた子どもの姿・遊びをあげてみよう！
- ② 子どもが自ら遊びたいと考えて選んだり試したりできる環境について考えてみよう！
- ③ 子どもが何かに取り組んでいる時子どもの言葉に耳を傾けて・・・どんな言葉が聞き取れたかな？

園内研修を楽しみたい！！

まずは場づくりからスタート！！

- ① 新年度は特に職員同士も緊張感がありますね。互いを知り合い一緒により良い保育をしていこうという気持ちになれるように丁寧にスタートしていきましょう。
- ② 園内研修は保育者の成長の場個々の個性、感性や創造性を尊重し保育者としての成長を確かめ合っていきたいです。

来年度も保育サービス課研修では保育士研修や公開保育など研修を開催していきます。保育の悩みや課題、喜びを共有しながら学びあうことができるように！！保育サービス課研修の機会を活用していただけたら嬉しいです。皆さんの参加をお待ちしています！！



「ドキュメンテーションを学び 発信力の向上を身につける」 ～保育に親を巻き込む～



「保護者に子どもの成長発達に関心をもってもらいたい！」という思いからドキュメンテーションを学び、クラス毎に取り組みたい内容の実践・発信について増田先生に助言をいただき研究を進めました。

0 歳児ひよこ組

シェアボード



～未来にワクワク！子どもの姿の共有を目指して～

受託コーナーに設置したシェアボード

(毎月の足型を掲示

・運動遊びの壁新聞)

は、「いいね」コーナーの保護者の投稿が保育士のモチベーションアップにつながりました。休日に積極的に公園へ行くようになったとの声も出ています。



1 歳児りす組

みてみて！こんなこともできるよ

～歩行の完成への道のり～

保育士に「こんなこともできるよ！」と見せてくれる姿にコメントを付けた壁新聞を掲示し、保育士体験でふれあい遊びの活動をする、意図が理解してもらえた感想が得られ、手応えを感じることができました。また、子どもとの信頼関係がきちんと築けているから、様々なことにチャレンジできたことを再確認できました。



2 歳児うさぎ組

保護者と作る「いやいやの木」

いやいや期を一緒に乗り越えよう！

保護者の悩み・アドバイスの葉を茂らせる「いやいやの木」は、同じ気持ちでみんな頑張っている！それがわかれば頑張れる！そんな思いを共有するために生まれました。見やすさや参加しやすさの工夫、こちらから積極的に関わる姿勢が大切だということ学びました。今後も少しずつ葉っぱが増えていくよう、担任が懸け橋になる声をかけ続けていきます。



3 歳児きりん組

いっしょにあ～そぼろ

～個から集団へ～

友だちと一緒に遊んでいる様子をよりわかりやすく伝える為に『きっかけ』『気づき』『工夫』『模倣』『発展』に分けて子どもたちのつぶやきを入れると、子どもの変化を整理でき、より子どもたちの成長段階・過程が分かり考察が深まりました。日常の保育を繰り返し可視化して発信してきたことで、普段の子どもとの会話から保育園での姿を想像してもらえた手ごたえを感じ、保護者と共に子どもの成長を喜び合うことができました。



4 歳児そう組

そうぐみ流「中当て」をつくろう

ルールを守って遊んで欲しい、約束事を守るようになってほしいという思いに、アドバイスをいただき、そう組流中当てを作っていくことになりました。話し合いの中では意見を尊重し、話を分かりやすく整理することをポイントにし、全員が意見を言える場も作りました。ドキュメンテーションの手法を用いて保育を知らせることにより、子どもたちの細かな様子を客観的にみることができたり、新たな面を発見することが出来ました。保護者からは「子どもたちがどんな考えや思いでの話し合いか、普段見られない姿から成長を感じた」「子どもたちが民主的にルールを決め、納得して守ることができる姿に驚いた」などの感想を得られ、成長の様子を共感することができました。

5 歳児らいおん組

『ドキュメンテーションで伝えよう!』

子ども達がどんなことを楽しみ、やりとりしているのか、活動を見守りサポートしている保育士の思いやねらいを伝えたいと、その日に盛り上がった遊びの様子や、子ども同士の話し合いの様子など、日常の姿を多く発信するようにしました。興味を引きやすいよう写真を多くいれ、会話のやりとりに吹き出しをつけ発展の経緯をわかりやすく書き、保育のねらいを知らせていきました。なぜその活動をするのか、何を育てたいのかを伝えることで保護者も子どもの状況や課題が見え、相互理解につながることを学びました。

これからも保護者に

子どもの成長が伝える力を磨いていきます♡





5歳児「春のお弁当」

「子どもたちの気づき、やってみたい意欲にとことん寄り添い共有する」



4歳児「あさがおの生長記録」

『とことん遊び込む』このことから主体性を育む保育の視点に力を入れて取り組んできました。保育士は裏方となり、子どもの興味関心を見極め、素材の準備や環境設定、声かけや関わり方の工夫をしました。野口先生のアドバイスを頂きながら、振り返り10の姿を捉え、次の遊びのしかけを考えていくと、子どもたちからも思わぬ反応や発想があり、職員もワクワク保育の面白さを感じる事が出来ました。研修の成果は子どもたちの目の輝き、保護者や保育士の笑顔に表れていると思います。

1歳児 もみじ組

何だろう この感触は？♡初めての出会い♡

巧緻性に着目した経験が出来るように自然物に触れる機会や手作り玩具を工夫しました。「何だろう」「触ってみようかな」の瞬間を大切にもらえて、子どもの感じたことや思いを受けとめ、丁寧に次への挑戦に繋げていくことの大切さを学びました。



「ぼよ〜ん」「さらさら」

2歳児 すみれ組

感触遊び

感触遊びで解放感を感じる子がいる一方で、苦手意識のある子に対して、アプローチを工夫していきました。1つの素材でも遊び方に変化をつけることで、「やってみたい」の意欲や表現の楽しさに繋がりました。作品を使って継続して遊ぶことで、友だちとの言葉のやり取りや楽しさの共有にもなりました。



氷絵の具「冷たいね〜」

3歳児 ちゅうりっぷ組

LOVE♡LOVE♡ダンゴムシ

虫好きの子どもたちは、ダンゴムシ探しやセミの抜け殻集めに夢中。虫の観察コーナーは他クラスの子どもたちにとっても大人気。探求心がメキメキと表れ、ある日の散歩では、子どもたちから絵本で見たアリの餌を与える実験を初めていました。ごっこ遊びや運動会も自分たちで考えたダンゴムシの世界を表現し、イメージの共有に繋がりました。



「何か動いてるよ」

4歳児 たんぽぽ組

友だちといっしょにぐりぐりしたい！

草花遊びの好きな子どもたちの興味関心が深まるように、すり鉢を用意しました。こする中で素材の性質や色の変化に気付き、教え合う姿がみられました。素材にするため朝顔を栽培すると、愛おしそうに観察し、友だちの刺激を受けながら、自分たちで考えた素材で朝顔を表現した生長記録が完成しました。個から集団へ、友だちと一緒に考え工夫する協同性や思考力が育まれました。



「混ぜてみよう♪」

5歳児 ひまわり組

描いたり作るのって楽しいね♪

造形活動が好きな子どもたちに、豊かな素材を提供しました。飛行機や船作りブームの時は、継続して楽しむ中で「くるっと回って面白い」「あれ沈んじゃった。どうしてかな？」と友だちの作品に刺激を受け、出来ないでなく、どうすれば出来るかを工夫する意欲が出てきました。話し合う経験が積み重なり、ごっこ遊びでは、様々なお店屋さんの中には、自分たちの得意とする似顔絵屋さんも開店し大盛況でした。豊かな発想で準備を進め、役割に責任をもって取り組み、異年齢交流を通して自立心、協同性、道徳性・規範意識などが育まれました。



「動く船が作りたいな」

保護者との共有

～掲示を通して～

全クラスの掲示をホールに展示する期間を設け、保護者に紹介しました。「送迎時にはなかなか他のクラスの掲示は見られないけれど、子どもたちの様子や成長が伝わりました。」などの感想を頂きました。さらに後期保護者会でも、より詳しく伝え、資質・能力を育む大切さと、子どもたちの成長を共有しています。



12月3日：『保育の質向上プロジェクト研修』報告会の様子

【南前野保育園】・【志村橋保育園】の2園による園内継続研究研修の報告を、参加者の皆さんも熱心に聞き入っていました。保育の質が向上する取り組みを共有し、たくさんの保育のヒントをいただくと共に保育の楽しさを再確認することが出来た報告会となりました。

情報交換は6地域で9グループに分かれて行いました。情報交換を通して「やってみたいな!」「自園でどのように活かしていけるかな?!」と考えるきっかけにもなり、各グループでは活発な意見が交わされました。



取り組みの報告についての感想・情報交換の様子



保護者の反応がないので、保護者に伝えたいことの“見せ方”や“方法”など、学んだことを参考にしていきたい。



ドキュメンテーションの取り方はまず観察していくことが大事だと感じた。テーマを決めてやってみたい。



ドキュメンテーションを使って、少しずつ保護者に反応をもらっていけたら良いと感じた。

保護者との共有を図れる掲示の置き場について話をしていきたい。



やりたい気持ちはあるが、時間の捻出や職員の意識の共有が課題である。

子ども達でのルール作りはまとまりにくく難しさもあるが、自分達でどう意識していけるかを考えていくのは良いことなので、実践していきたい。

“ことば集め”の実践の話聞き、参考にしたいと思った。

子ども同士で話し合って決めたルールは、他園との交流等を行ったときにはどうなるのだろうか?! その後の話の交流会を、また持ちたい。



会場には、2園の園内継続研修の取り組みについての、たくさんの掲示や展示物も紹介されていました。保育に保護者を巻き込むお便りや掲示、子ども達の気づきや意欲・探求心にとことん寄り添った関わりや環境の工夫を、参加者の皆さんも1つひとつじっくりと見入っていました。



南前野保育園

子どもの姿を伝えるドラマチックなお便りや掲示がたくさん！

保護者や職員からの反応も付箋で書き込まれ、保育や子どもの育ちが共有される工夫がされていました。



志村橋保育園

ワクワクから とことんへ

子ども自身の意欲を引き出す素材の準備やさり気ないしかけ、環境の工夫がいっぱい！

自然物にも触れ、繰り返し継続して楽しむ中で豊かな体験へつながる保育が展開されていました。



今年度の園内継続研究研修に携わっていただいた講師の先生方より総評

増田先生より … ドキュメンテーションを作る一番大きな意味は“保育実践を振り返ることができるので立案で終わりがちな指導案がより一層意味のあるものになっていく”“保護者への園の理念や方針への理解を促すことができる”ことです。今、小学生には認知の力が足りていない現状があるので、保育園は子どもが指示を理解できるように認知する力を育てたり、小学校の学びに立ち向かっていける力（非認知能力）を作っていくってほしいと思います。



野口先生より … 難しいと思うことをどうすればできるか考えていくことが大事ですが、職員がそれを実践していたことが印象的でした。子どもを主体とした保育環境に関わり実践・振り返りを行うこと、また今後研究テーマが変わったり職員が入れ替わったりしても、今回の取り組みをどう理解して残し、継続することができるかを振り返ることが保育です。各園によって状況は違いますが、取り入れられることを取り入れながら、板橋の保育の向上を目指していきましょう！

